

項目	書名 <b>TOTAL ENGLISH</b> <span style="float: right;">11 学校図書</span>
教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各学年とも4技能の活動のバランスを重視。本文は対話形式が中心で、活動の積み重ねによりコミュニケーション能力の基礎を養うようになっている。</li> <li>○小学校外国語活動との連携を重視し、1学年は一般動詞の導入から始まっているのが大きな特徴である。</li> <li>○日常生活から日本の伝統文化・異文化・環境問題など様々な題材を取り入れ、国際語として英語圏以外での舞台・題材を用いて、国際理解を進める工夫がされている。</li> </ul>
特色	<p><b>&lt;基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○2つの Lesson と Project で1 Chapter を構成し、各学年4つの Chapter で成り立つ。前年度の復習として Pre-lesson が置かれる。各 Lesson 後に Review が設けられ、4技能を繰り返し定着を図っている。</li> </ul> <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成する工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○Lesson の各セクションや Action の Listening, Speaking, Writing で習得した基礎的知識・技能を実際に活用して、自分の身の回りのことについて表現活動する Chapter Project が各 Chapter の最後に設けられている。</li> <li>○Word Tree, Talking Time では日常生活でよく使われる表現やコミュニケーション場面を集中して活動できるようになっている。</li> </ul> <p><b>&lt;主体的に学習に取り組む態度を養う工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○各 Chapter の最初のページに言語材料や目標が明記され、生徒が見通し・振り返りが図れる様になっている。Lesson 後の Review, Chapter Project で学習を振り返り、Check it Out では、自分で文法整理や学習のまとめが図れるようになっている。</li> </ul> <p><b>&lt;聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力を育成する工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○4技能の育成のセクションにおいて、語彙力の強化を適切にはかるため随所に Word Tree を設けている。あるテーマに関して運用度の高い語句を配し、典型的な言語活動場面を通して語彙習得が図れる工夫がされている。</li> </ul>
資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>○小学校で慣れ親しんだ、一般動詞（like）から導入することで小学校外国語活動との接続が強化されている。</li> <li>○セクションを見開きページとし、右ページに目標分とそれを習得するための Activities を設けている。</li> <li>○1学年の Reading の点字では、実際にアルファベットの点字に触れることができ、体験的な学習ができる工夫がされている。</li> </ul>
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○1学年では、年間を通してブロック体が使われる。2, 3年では、Talking Time, Action, Word Tree でブロック体、他は活字体が使われる。全学年で、日記・スピーチ・手紙文で手書き風文字を使用。</li> <li>○1学年では新出単語のアクセント記号を、2・3学年では発音記号を併記している。</li> <li>○綴りと発音を関連付けて指導できるよう工夫されている。</li> </ul>
総括	<ul style="list-style-type: none"> <li>○年間4つの Chapter があり、見通しと狙いを明示したガイドがあり、まとめとして4技能の統合的学習を行う Chapter Project があるのが大きな特徴。</li> <li>○国際語としての英語を意識し、題材を英語文化圏のみでなく幅広く他地域からも取り入れ、背景にある文化・社会・生活面にも視野を広げ、理解や共感を深める構造になっている。</li> </ul>